

第8回 倫理委員会 議事要旨

日時：2009年6月12日（金）14：00～17：00

場所：電気学会第1～3会議室

出席者：14名

議事要旨

1. 豊田新委員長あいさつ

川村前委員長が退任され、豊田副委員長が新たに委員長に就任した。

2. 教育WG 報告

(1) 2009年度の活動予定が紹介された。委員各位にもご協力をお願いします。

(2) 9月9日開催予定の「第2回技術者倫理研修会」の開催案が報告された。

(3) 3月17日に北海道で開催された平成21年の電気学会全国大会シンポジウム『高等教育機関における「技術者倫理」教育のスパイラルアップへ向けて』の実施報告がなされた。

- ・ 講演をお願いしていた先生が、非常によく準備をされていたのに講演時間が不足していた。第2回技術者倫理フォーラムで改めて講演をお願いした。
- ・ 今回、学生の参加もあり、アンケートにもコメントを寄せてくれた。
→今までは学生に対してあまり声を掛けていなかった。今後は教育学部、社会倫理も含め広い分野の学生、高専生、高校生などの若い人にも積極的に声をかけ参加者の層を広げたい。
- ・ このシンポジウムは、受付での参加登録が不要（参加無料）であることをもっとPRすれば学生などの参加者が増えるのではないか。

(4) 5月13日に開催された「第2回技術者倫理フォーラム」の実施報告がなされた。

「技術者倫理と ELSI (ELSI: Ethical, Legal, and Social Issues: 倫理的, 法的, 社会的課題) のテーマで講演と討論が行われ、熱心な議論が交わされた。

3. 広報WG 活動報告

- ・ この委員会活動の議事要旨をHPに掲載することで準備をすすめている。
- ・ 5月13日に座談会を実施し、10月号の学会雑誌に掲載するべく、編修委員会の方で編修中。

4. 技術者倫理に関する学協会対応調査

某学協会において制定・改定した「会員の不正行為の調査・審理に関する細則」が紹介され、2つの具体的なケースが紹介された。

別の某学協会における会員の不正行為に関して、除名・戒告・処分なしのケースが紹介された。

- ・ 会員を罰するばかりでなく、弁護する例、会員を守る側の活動ももっとやって欲しい。
- ・ 新しい学説に関する論文は掲載されても、反対の論文が審査をパスしないことが多いと感じる。
- ・ かつて、米国ベル研のシェーンが、論文をねつ造した事件があった。それを見抜けなかった学協会側は釈明した。査読のレベルが疑われたら、釈明した方がよい。それが学協会の説明責任。
- ・ 倫理に反した人をどこまで追求するかは難しい。追いつめて潰してしまうと社会的に困るケースも出てくる。社会的制裁との兼ね合いをどこに引くかが難しい。(存在と救済)

5. 倫理的不適合事例紹介

某学協会が論文のねつ造と改ざんについて大学院の先生を告発した事例を紹介した。

6. 技術倫理協議会報告

3月25日に開催された協議会の報告がなされた。技術倫理協議会が行う、技術倫理・技術者倫理に関する教育の実態調査について、電気学会も学会としてアンケートに協力する。

7. 倫理委員会進捗確認

この倫理委員会の活動の進捗状況確認を行った。次回の委員会ではH22年の全国大会シンポジウムを話題にしたい。

以上